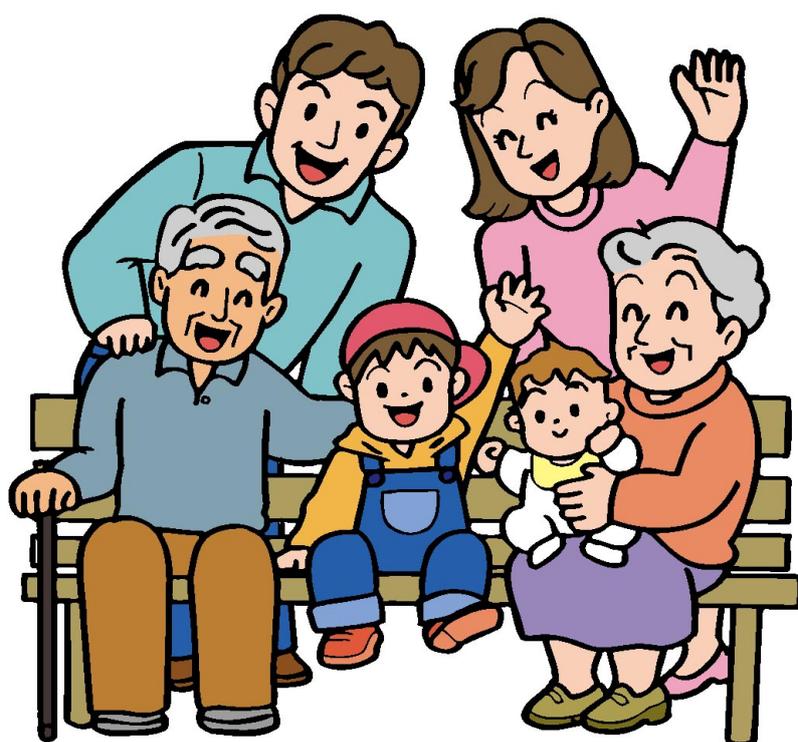


令和3年度予算概要

「安全・安心」「魅力」「健康」

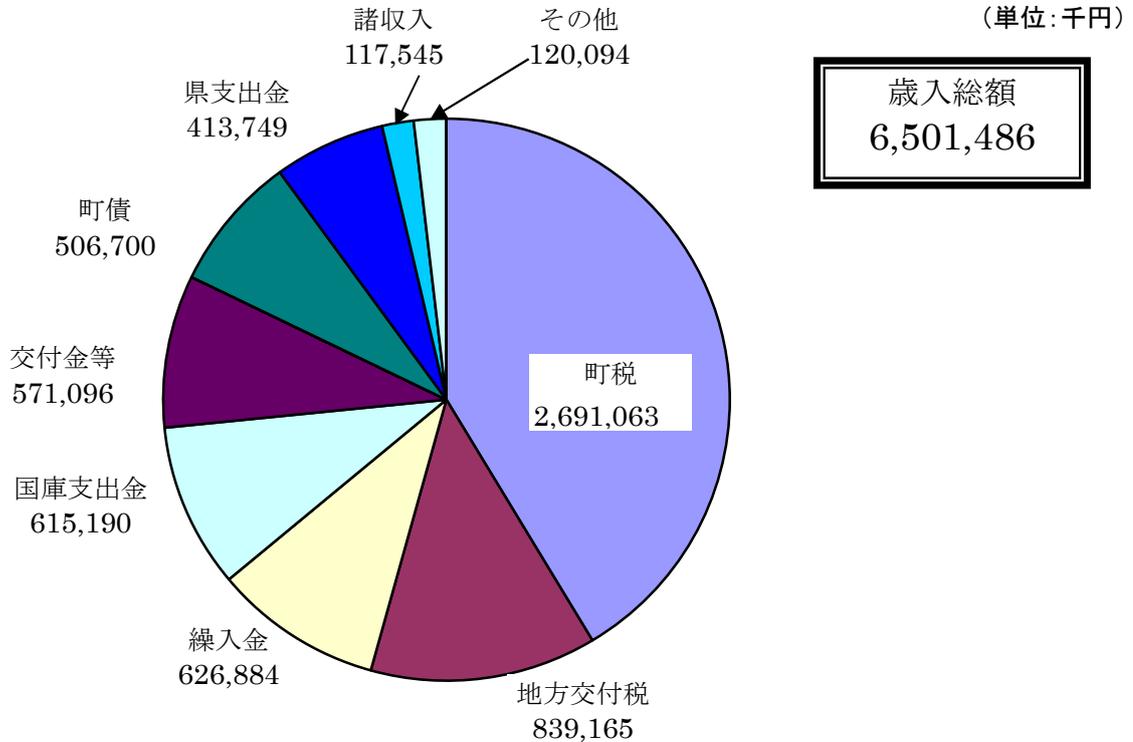


酒々井町

I 令和3年度の一般会計予算

令和3年度の一般会計の歳入歳出の予算を円グラフと表で表し、令和2年度の当初予算額との比較をしています。歳出は、目的別（表2：使用する目的別）と性質別（表3：使用する性質別）の2表で比較しました。

1. 歳入【目的別】



令和3年度一般会計予算歳入（表1）の主な内容については、次のとおりです。

歳入総額は、65億148万6千円となり、対前年度比4億4,267万2千円、6.4%の減少となりました。

町税については、軽自動車税や町たばこ税の増加はあるものの、コロナ禍の影響や法人税率の改正による個人・法人町民税の減少に加え、コロナ減免の影響及び評価替えによる固定資産税及び都市計画税の減少により、対前年度比3億2,898万4千円、10.9%減の26億9,106万3千円を見込みました。

地方譲与税及び各種交付金については、地方特例交付金、法人事業税交付金、環境性能割交付金の増加を見込んだことから、交付金等全体で対前年度比6,718万9千円、13.3%増の5億7,109万6千円となりました。

地方交付税については、町税をはじめとする自主財源の減少による影響から増額を見込み、対前年度比1億2,996万5千円、18.3%増の8億3,916万5千円となりました。

国庫支出金については、中央公民館施設整備事業に伴う社会教育費補助金や役場中央庁舎耐震補強等改修事業に伴う都市計画費補助金、社会資本整備総合交付金などの減少により、対前年度比2億3,933万6千円、28.0%減の6億1,519万円となりました。

県支出金については、災害復旧費補助金、統計調査費委託金、社会福祉費負担金の減少により、対前年度比906万8千円、2.1%減の4億1,374万9千円となりました。

繰入金については、減債基金、社会資本等整備基金、都市開発基金等からの繰入金が減少

したものの、地域福祉基金や財源調整となる財政調整基金からの繰入金が増加し、対前年度比1億4,740万2千円、30.7%増の6億2,688万4千円となりました。

繰越金は前年度の歳計剰余金（前年度会計で余った資金）を前年度と同様に6,000万円程度と見込み、繰越金を3,000万円としています。〔歳計剰余金の2分の1以上は、財政調整基金に積み立てることとなっています。〕

町債については、臨時財政対策債、減収補てん債の増加があるものの、中央公民館施設整備事業や役場中央庁舎耐震補強等改修事業、防災対策事業、地方道整備事業などの減少により、対前年度比2億910万円、29.2%減の5億670万円となりました。

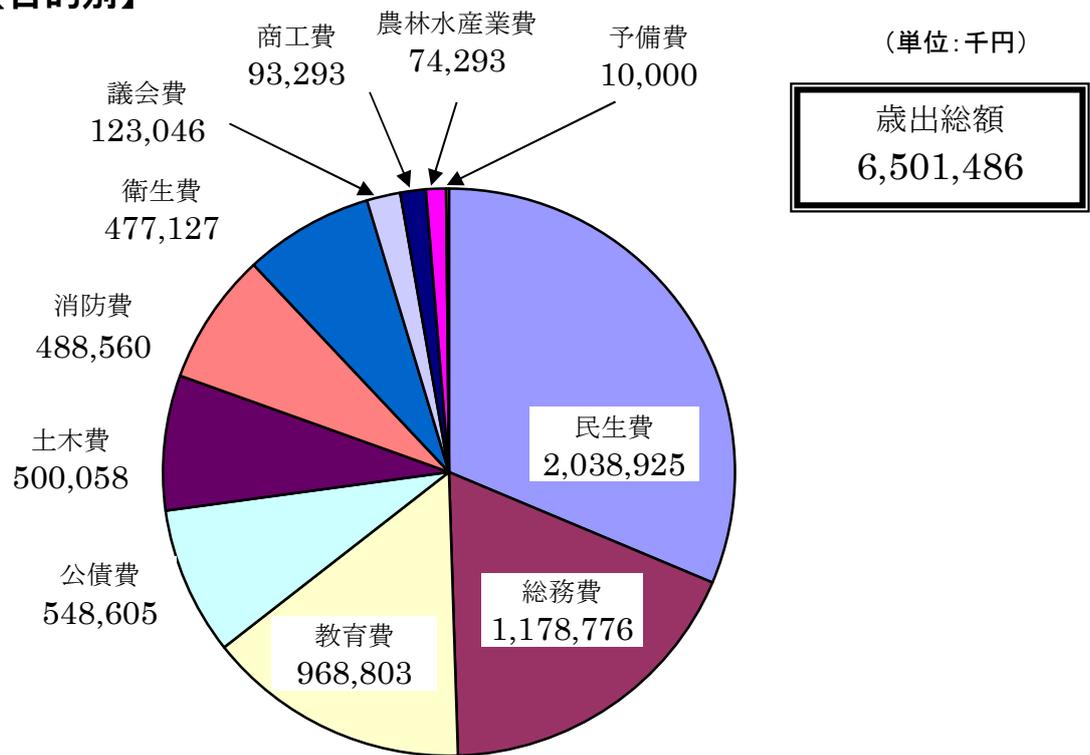
なお、地方消費税の税率引き上げの増収分は、全額社会保障費の財源に充当することになっています。

表1 令和3年度一般会計 歳入（目的別）

（単位：千円、%）

款	令和3年度 当初予算額	構成比	令和2年度 当初予算額	構成比	比較増減	伸率
1 町 税	2,691,063	41.4	3,020,047	43.5	△ 328,984	△ 10.9
2 地 方 譲 与 税	43,128	0.7	65,207	1.0	△ 22,079	△ 33.9
3 利 子 割 交 付 金	1,600	0.0	2,100	0.0	△ 500	△ 23.8
4 配 当 割 交 付 金	4,700	0.1	12,700	0.2	△ 8,000	△ 63.0
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	2,200	0.0	17,400	0.3	△ 15,200	△ 87.4
6 地 方 消 費 税 交 付 金	336,800	5.2	364,400	5.2	△ 27,600	△ 7.6
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	1	0.0	25,600	0.4	△ 25,599	△ 100.0
8 環 境 性 能 割 交 付 金	4,770	0.1	—	—	4,770	皆増
9 法 人 事 業 税 交 付 金	29,150	0.4	—	—	29,150	皆増
10 地 方 特 例 交 付 金	145,947	2.2	13,700	0.2	132,247	965.3
11 地 方 交 付 税	839,165	12.9	709,200	10.2	129,965	18.3
12 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	2,800	0.0	2,800	0.1	0	0.0
13 分 担 金 及 び 負 担 金	20,425	0.3	21,676	0.3	△ 1,251	△ 5.8
14 使 用 料 及 び 手 数 料	45,752	0.7	44,946	0.6	806	1.8
15 国 庫 支 出 金	615,190	9.5	854,526	12.3	△ 239,336	△ 28.0
16 県 支 出 金	413,749	6.4	422,817	6.1	△ 9,068	△ 2.1
17 財 産 収 入	6,915	0.1	7,337	0.1	△ 422	△ 5.8
18 寄 付 金	17,002	0.3	13,002	0.2	4,000	30.8
19 繰 入 金	626,884	9.6	479,482	6.9	147,402	30.7
20 繰 越 金	30,000	0.5	30,000	0.4	0	0.0
21 諸 収 入	117,545	1.8	121,418	1.7	△ 3,873	△ 3.2
22 町 債	506,700	7.8	715,800	10.3	△ 209,100	△ 29.2
合 計	6,501,486	100.0	6,944,158	100.0	△ 442,672	△ 6.4

2. 歳出【目的別】



令和3年度一般会計予算歳出(表2)の主な内容については、次のとおりです。

歳出の総額は、歳入と同額の65億148万6千円となり、対前年度比4億4,267万2千円、6.4%の減少となりました。

議会費は、議員共済費、議会用備品などの減少により、対前年度比289万円、2.3%減の1億2,304万6千円となりました。

総務費については、衆議院選挙費及び町長選挙費などの増があるものの、役場中央庁舎耐震補強等改修工事等1億4,980万9千円、防災行政無線(同報系)整備工事4,747万円、各種統計調査員(国勢調査等)610万1千円などが減少したことにより、対前年度比1億7,005万2千円、12.6%減の11億7,877万6千円となりました。

民生費については、障害者医療費700万円、システム更改に伴うふれ愛タクシー運行機器616万円、介護保険特別会計繰出金474万3千円などが減少したものの、放課後児童対策事業施設整備等補助金1,490万4千円、施設型給付費・地域型保育給付費984万円、療養給付費負担金(後期高齢者医療事業)922万円、会計年度任用職員937万円、子育てのための施設等利用費703万9千円などの増加により、対前年度比2,844万1千円、1.4%増の20億3,892万5千円となりました。

衛生費については、佐倉市酒々井町清掃組合負担金547万3千円、肝炎ウイルス検査業務294万6千円、成田市急病診療所運営費負担金260万7千円などの増加により、対前年度比300万6千円、0.6%増の4億7,712万7千円となりました。

農林水産業費については、庁用車購入費351万8千円、担い手育成支援事業補助金100万円などの減少により、対前年度比852万1千円、10.3%減の7,429万3千円となりました。

商工費については、酒々井町まち歩きアプリケーション制作業務550万円、IT活用・販路開拓等支援事業補助金200万円などの減少により、対前年度比1,121万7千円、10.7%減の9,329万3千円となりました。

土木費については、大規模盛土造成地変動予測調査業務702万9千円、都市計画基礎調査245万3千円、町単独の道路維持事業3,577万4千円などの増があるものの、国の補助事業として社会資本整備総合交付金を活用した道路改良事業4,051万4千円、道路維持事業1,329万9千円、交通安全対策事業449万7千円、被災住宅修繕緊急支援事業補助金等3,210万円などの減少により、対前年度比4,284万7千円、7.9%減の5億5万8千円となりました。

消防費については、佐倉市八街市酒々井町消防組合負担金970万8千円、防火水槽設置工事900万円などの減少により、対前年度比1,860万4千円、3.7%減の4億8,856万円となりました。

教育費については、校務支援システム賃借料788万円、各小・中学校の事務機器賃借料及び保守費1,347万円、給食センター高圧受電設備改修工事308万円などの増があるものの、中央公民館施設整備工事等（空調・太陽光蓄電池・LED照明・キュービクル改修・アスベスト除去）2億6,578万4千円、国際交流（派遣・受入れ）業務1,055万9千円、学校等長寿命化計画策定業務700万円、墨スポーツ広場防球ネット復旧工事669万9千円、小学校の学習指導要領改定に伴う教科用図書教科書・指導書等教材備品629万1千円、歴史・文化資産等見える化業務等418万円、公民館電気代402万6千円などの減少により、対前年度比2億5,495万6千円、20.8%減の9億6,880万3千円となりました。

公債費については、臨時財政対策債の償還額の増加などから、対前年度比3,496万8千円、6.8%増の5億4,860万5千円となりました。

表2 令和3年度一般会計 歳出（目的別）

（単位：千円、%）

款	令和3年度 当初予算額	構成比	令和2年度 当初予算	構成比	比較増減	伸率
1 議会費	123,046	1.9	125,936	1.8	△ 2,890	△ 2.3
2 総務費	1,178,776	18.1	1,348,828	19.4	△ 170,052	△ 12.6
3 民生費	2,038,925	31.4	2,010,484	29.0	28,441	1.4
4 衛生費	477,127	7.3	474,121	6.8	3,006	0.6
5 農林水産業費	74,293	1.2	82,814	1.2	△ 8,521	△ 10.3
6 商工費	93,293	1.4	104,510	1.5	△ 11,217	△ 10.7
7 土木費	500,058	7.7	542,905	7.8	△ 42,847	△ 7.9
8 消防費	488,560	7.5	507,164	7.3	△ 18,604	△ 3.7
9 教育費	968,803	14.9	1,223,759	17.6	△ 254,956	△ 20.8
10 公債費	548,605	8.4	513,637	7.4	34,968	6.8
11 予備費	10,000	0.2	10,000	0.2	0	0.0
合計	6,501,486	100.0	6,944,158	100.0	△ 442,672	△ 6.4

表3 令和3年度一般会計 歳出（性質別）

（単位：千円、％）

項 目	令和3年度 当初予算額	構成比	令和2年度 当初予算額	構成比	比較増減	伸 率	
1 人 件 費	1,801,804	27.7	1,772,832	25.5	28,972	1.6	
2 扶 助 費	849,743	13.1	869,016	12.5	△ 19,273	△ 2.2	
3 公 債 費	548,605	8.4	513,637	7.4	34,968	6.8	
義務的経費小計	3,200,152	49.2	3,155,485	45.4	44,667	1.4	
4 物 件 費	1,143,636	17.6	1,145,408	16.5	△ 1,772	△ 0.2	
5 維 持 補 修 費	18,994	0.3	15,285	0.2	3,709	24.3	
6 補 助 費 等	955,550	14.7	948,847	13.7	6,703	0.7	
経常的経費小計	5,318,332	81.8	5,265,025	75.8	53,307	1.0	
7 普 通 建 設 事 業 費	535,614	8.3	1,003,461	14.5	△ 467,847	△ 46.6	
内 訳	補 助 事 業 費	192,873	3.0	825,985	11.9	△ 633,112	△ 76.6
	単 独 事 業 費	342,741	5.3	177,476	2.6	165,265	93.1
8 災 害 復 旧 事 業 費	—	—	32,035	0.5	△ 32,035	皆減	
9 積 立 金	26,827	0.4	24,319	0.4	2,508	10.3	
10 投 資 及 び 出 資 金	1,960	0.0	255	0.0	1,705	668.6	
11 貸 付 金	3,000	0.0	3,000	0.0	0	0.0	
12 繰 出 金	605,753	9.3	606,063	8.7	△ 310	△ 0.1	
13 予 備 費	10,000	0.2	10,000	0.1	0	0.0	
合 計	6,501,486	100.0	6,944,158	100.0	△ 442,672	△ 6.4	

性質別歳出（表3）を見ると、義務的経費のうち扶助費は、幼児教育・保育の無償化に伴う施設型給付費・地域型保育給付費、高等学校等奨学給付金などが増加したものの、児童手当、障害者医療費、障害児給付費などの減により扶助費全体では減少しました。

その一方で、会計年度任用職員の期末手当等の増に伴い人件費は増加、さらに公債費は、臨時財政対策債をはじめ元金償還が増加したことなどから義務的経費は、対前年度比4,466万7千円、1.4%増の32億15万2千円となりました。

物件費については、道路改良事業に伴う測量・登記及び概略設計業務、国際交流派遣業務、学校等長寿命化計画策定業務、教科用図書教科書・指導書等教材備品などの減により、対前年度比177万2千円、0.2%減の11億4,363万6千円となりました。

補助費等は、放課後児童対策事業施設整備等補助金、子育てのための施設等利用費、佐倉市酒々井町清掃組合負担金、施設型給付費・地域型保育給付費などの増加により、対前年度比670万3千円、0.7%増の9億5,555万円となりました。

普通建設事業費については、道路維持事業（町単独）、墨古沢遺跡国史跡用地購入費などが増加したものの、役場中央庁舎耐震補強等改修工事、中央公民館施設整備工事及び施設改修工事、さらには防災行政無線（同報系）整備工事、防火水槽設置工事などが減少したことにより、対前年度比4億6,784万7千円、46.6%減の5億3,561万4千円となりました。

積立金については、ふるさと基金、森林環境譲与税基金の増加により、対前年度比250万8千円10.3%増の2,682万7千円となりました。

投資及び出資金については、印旛広域水道出資金の増加により、対前年度比170万5千円、668.6%増の196万円となりました。

繰出金については、国民健康保険事業、介護保険事業への繰出金の減少から対前年度比310万円、0.1%減の6億575万3千円となりました。

II 各特別会計

各特別会計の予算状況は次のとおりです。特に後期高齢者医療特別会計は、後期高齢者医療保険への加入者の増により増加しています。

(単位:千円、%)

特別会計名	令和3年度 当初予算	令和2年度 当初予算	比較増減	伸率
国民健康保険特別会計	2,272,589	2,360,901	△ 88,312	△ 3.7
介護保険特別会計	1,325,446	1,346,759	△ 21,313	△ 1.6
後期高齢者医療特別会計	314,159	300,155	14,004	4.7
計	3,912,194	4,007,815	△ 95,621	△ 2.4

III 水道事業会計

水道事業会計は次のとおりです。独立採算制で経営されており、経営努力により経費の削減を図っていますが、今後施設等の老朽化から資本的支出の増加が見込まれます。

(単位:千円、%)

企業会計収支	令和3年度 当初予算	令和2年度 当初予算	比較増減	伸率
水道事業収益	555,071	559,496	△ 4,425	△ 0.8
営業収益	488,803	493,608	△ 4,805	△ 1.0
営業外収益	66,268	65,888	380	0.6
水道事業費用	424,610	429,153	△ 4,543	△ 1.1
営業費用	399,202	399,655	△ 453	△ 0.1
営業外費用	23,408	27,498	△ 4,090	△ 14.9
予備費	2,000	2,000	0	0.0
資本的収入	5,985	5,237	748	14.3
企業債	0	0	0	0.0
分担金及び負担金	5,985	5,237	748	14.3
資本的支出	293,983	335,845	△ 41,862	△ 12.5
建設改良費	192,060	206,329	△ 14,269	△ 6.9
企業債償還金	99,923	127,516	△ 27,593	△ 21.6
予備費	2,000	2,000	0	0.0

IV 下水道事業会計

下水道事業は、平成26年度から地方公営企業法の一部（財務規定）を適用し、企業会計方式の会計に変更されました。

（単位：千円、％）

企業会計収支	令和3年度 当初予算	令和2年度 当初予算	比較増減	伸率
下水道事業収益	384,648	386,028	△ 1,380	△ 0.4
営業収益	339,001	342,995	△ 3,994	△ 1.2
営業外収益	45,647	43,033	2,614	6.1
下水道事業費用	457,115	451,948	5,167	1.1
営業費用	435,203	425,697	9,506	2.2
営業外費用	20,912	25,251	△ 4,339	△ 17.2
予備費	1,000	1,000	0	0.0
資本的収入	9,832	16,438	△ 6,606	△ 40.2
企業債	1,980	2,700	△ 720	△ 26.7
国庫補助金	0	3,000	△ 3,000	△ 100.0
他会計補助金	7,529	10,415	△ 2,886	△ 27.7
負担金等	323	323	0	0.0
資本的支出	110,638	107,048	3,590	3.4
建設改良費	43,924	34,350	9,574	27.9
企業債償還金	65,713	71,697	△ 5,984	△ 8.3
その他資本的支出	1	1	0	0.0
予備費	1,000	1,000	0	0.0

V 町のローン残高（地方債の状況）

町債は、主に道路や施設等を整備するために町が借り入れるお金ですが、近年、地方交付税で補われる地方の財源不足を、国の財源不足から町が国の代わりに借金する「臨時財政対策債」の借入金残高が増加しています。

（単位：千円）

会計名	令和2年度末見込額	令和3年度中の増減	令和3年度末見込額
一般会計	5,791,509	△ 23,311	5,768,198
水道事業会計	677,217	△ 99,923	577,294
下水道事業会計	537,661	△ 75,613	462,048
計	7,006,387	△ 198,847	6,807,540

VI 町の貯金残高（基金残高）

基金は、町が予算を編成する際の財源補てんや特定の目的のために積み立てている貯金です。個人で例えると財形貯蓄、住宅積立金、学資積立金などに当たり、後年度の資金需要や財源不足に備えるためのものです。

【一般会計】

（単位：千円）

基金名称	令和2年度末 見込額	令和3年度中 増減見込額	令和3年度末 見込額
1. 財政調整基金	680,206	△574,914	105,292
2. 減債基金	710	0	710
3. 都市開発基金	2,049	1	2,050
4. 地域福祉基金	114,764	△14,509	100,255
5. 児童・生徒国際交流振興基金	27,141	8	27,149
6. ちびっこ天国基金	177,436	△596	176,840
7. 農業基盤整備事業基金	226,177	4	226,181
8. 東日本大震災復興基金	0	0	0
9. 社会資本等整備基金	561	0	561
10. ふるさと基金	28,109	△9,820	18,289
11. 土地開発基金	24,994	0	24,994
12. 都市計画事業基金	113,461	2	113,463
13. 森林環境譲与税基金	2,683	1,763	4,446
計	1,398,291	△598,061	800,230

【国民健康保険特別会計】

（単位：千円）

基金名称	令和2年度末 見込額	令和3年度中 増減見込額	令和3年度末 見込額
1. 財政調整基金	350,174	△88,981	261,193
2. 高額療養費貸付基金	3,000	0	3,000
計	353,174	△88,981	264,193

【介護保険特別会計】

（単位：千円）

基金名称	令和2年度末 見込額	令和3年度中 増減見込額	令和3年度末 見込額
1. 介護給付費準備基金	179,510	△41,687	137,823

【下水道事業会計】

（単位：千円）

基金名称	令和2年度末 見込額	令和3年度中 増減見込額	令和3年度末 見込額
1. 下水道事業基金	86,740	△100	86,640

※令和2年度末見込額は、令和3年度予算編成時点での見込額となりますので、実際の基金額とは異なる場合があります。

VII 令和3年度の酒々井さん家の家計

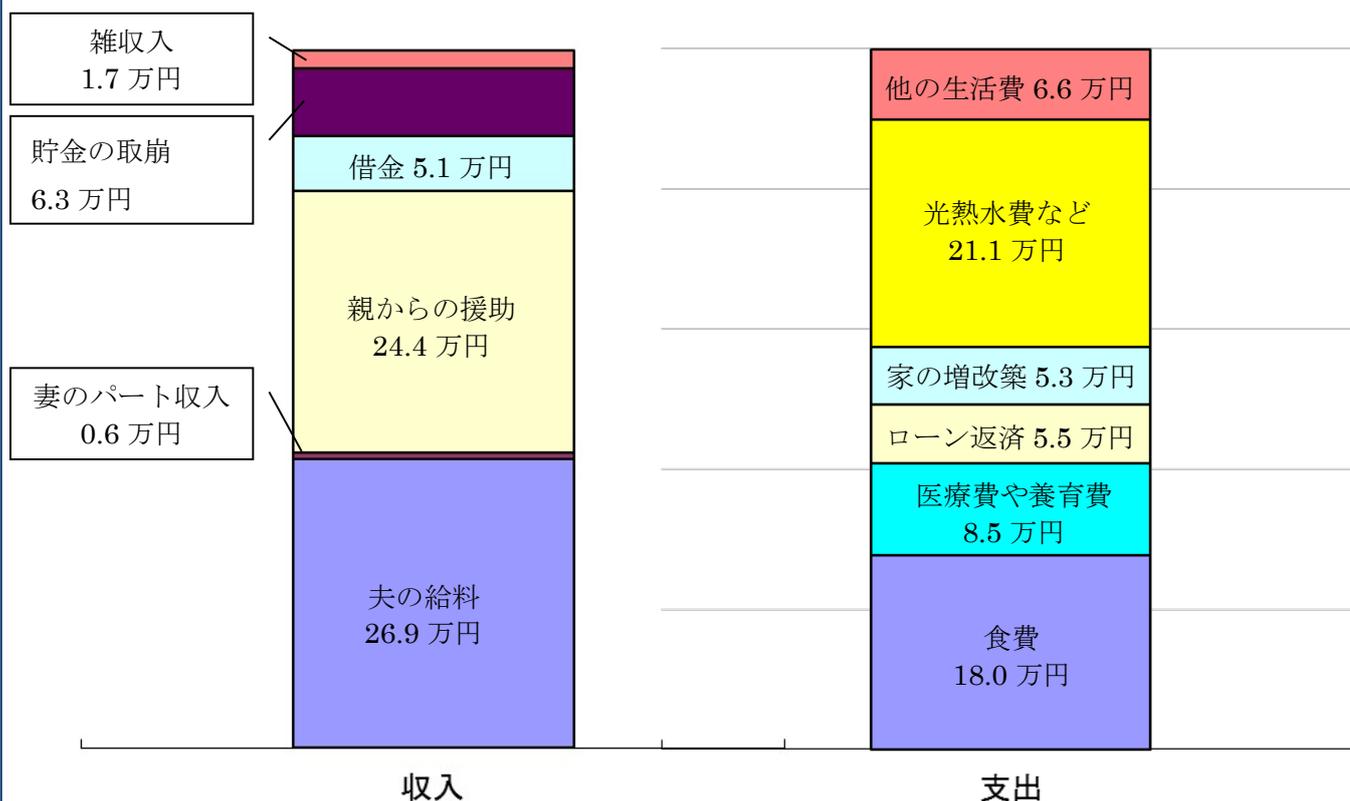
令和3年度一般会計の予算案について、1億円を1万円に置き換えてひと月の家計のやりくりに例えてみました。(1か月の家計65万円)

酒々井さんの月収(町税収入)は26万9千円で、コロナ禍の影響により昨年度から3万3千円の大幅な給料ダウンとなりそうです。そして、奥さんのパート収入(施設使用料、手数料、保育料など)は6千円で1千円減り、親からの援助(交付税、国・県補助金など)は24万4千円で、昨年度から5千円減ることになりそうです。不足分は、貯金の取り崩し(基金繰入金など)、さらに借金(町債)をして家計をやりくりしています。

一方、支出においては、家の老朽化による増改築費(道路などの建設改良費)が5万1千円減、医療費や養育費(医療費助成や児童手当などの扶助費)は2千円減ったもの、食費(給料、報酬などの人件費)は3千円増、光熱水費などは昨年度から1千円増える見込みです。

新型コロナウイルス感染症の影響で収入が大きく減ったことにより、家計のやりくりは昨年以上に大変になりそうです。

過去の借金(町債残高)は57万9千円から2千円減って57万7千円になる見込みで、ローンの返済額は昨年から4千円増え5万5千円の返済になる見込みです。



VIII 令和3年度の国から町への財源補てん（親からの援助）

すべての地方団体が一定の行政サービスを提供できるよう財源を保障するため、地方の固有財源として地方交付税が配分されています。しかしながら、国の三位一体の改革などによって地方交付税の一部が「臨時財政対策債」による借入金に振り替えられています。

令和3年度の国からの財源補てんについて、地方交付税と臨時財政対策債への振替などにより、11億636万5千円を見込んでいます。

昨年まで国からの補てん額の総額は減少傾向にありましたが、令和3年度はコロナ禍の影響を受け、町税などの自主財源が大幅に減少することから、国からの補てん額（地方交付税、臨時財政対策債）の総額は増加を見込んでいます。

国からの財源補てんの推移

単位：百万円

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
普通交付税	998	957	819	835	762	713	671	646	609	719
特別交付税	167	143	152	163	132	108	70	100	100	120
臨時財政対策債	389	390	315	298	254	275	278	246	232	267
計	1,554	1,490	1,286	1,296	1,148	1,096	1,019	992	941	1,106

※ 平成23年度から令和元年度までは決算額で、令和2年度は決算見込額、令和3年度は予算額です。